

新小樽(仮称)駅 駅前広場及び周辺駐車場について

1. これまでの経過 =====

令和2年3月24日開催の「第4回 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会」において、駅前広場について、次のとおり報告。

- ・ 現地の高低差や道道の縦断勾配の状況が判明し、従前レイアウトの課題が明らかとなったこと。
- ・ 課題解決のために、自家用車出入口の位置など、レイアウトが変更になる可能性があること。
- ・ 令和2年度については、レイアウト修正の完了に向けて、北海道及び公安委員会と協議を進めること。

【資料4-2参照】

2. 駅前広場整備計画の現状 =====

- 駅舎の仕上げ高さも確定し、レイアウト修正が完了。
- 駅前広場の都市計画決定(変更)に向けた関係機関(北海道及び公安委員会)協議がほぼ整った。
- 当該図面は、都市計画の決定手続きにおける計画案として用いるもの。
(今後の手続きの中で、若干変更の可能性あり)

【資料4-3、4-4参照】

〈駅前広場の概要〉

・ロータリー	公共交通車両用1か所、自家用車両用1か所
・車道幅員	3m(1車線当たり)
・歩道幅員	5m(キャノピー設置範囲)、2.5m(通常部)
・バスバース	4か所
・タクシーバース	降車2か所、乗車3か所
・タクシープール	16台
・自家用車バース	身障者用2か所、一般用2か所
・一時駐車場(キス・アンド・ライド)	身障者用2台、一般用16台

3. 駅周辺駐車場整備計画の現状 =====

- 駅前広場の計画の進捗を受けて、概略設計を実施できる段階に至った。
- まちづくり計画における必要台数(推計値)約300台の確保に向けて、駐車マスの配置などの設計を進める。

4. 今後の予定 =====

時期	駅前広場	周辺駐車場
令和3年度	公共事業(大規模等)事前評価 (北海道政策評価条例)	概略設計
令和4年度		← ・ 駅前広場関連施設として、左記の 審議に当たり照査を受ける。
令和5年度		←